

環境ホルモン学会第12回研究発表会のお知らせ

会期：2009年12月7日(月)、8日(火)

会場：東京大学山上会館

〒113-8654 東京都文京区本郷 7-3-1 <http://www.sanjo.nc.u-tokyo.ac.jp/>

大会実行委員長：米元純三（国立環境研究所）

<研究発表会の概略>

■口頭発表——会場：2F大会議室

12月7日(月)、8日(火) 全日

■ポスター発表——会場：2F201、202、203会議室

12月7日(月)、8日(火) 全日

*ポスターの展示については2部制になります。

1) 7日(月) Duty time: 13:30~14:30

2) 8日(火) Duty time: 11:00~12:00

■ミニシンポジウム——会場：7日(月) 2F大会議室 14:30~16:30

「残留性有機フッ素化合物(PFOS, PFOA)の規制、曝露、健康影響について」

講演者は裏面をご覧ください。

■特別講演——会場：8日(火) 2F大会議室 13:30~14:20

藤井義明（東京大学分子細胞生物学研究所）

「ダイオキシン受容体の生理的機能：内分泌攪乱作用との関わり」

<参加方法>

■研究発表参加の場合

申込書に口頭発表、ポスター発表の希望の別を記入の上下記の申込先までfax、e-mailにてお申し込み下さい。折り返し事務局から要旨原稿作成要項及び参加費振込票をお送りします。

発表申込締切 10月16日(金)

要旨原稿締切 10月30日(金) 必着

■一般参加（共同発表者も含む）の場合

申込書を下記の申込先までfax、e-mailでお申し込み下さい。

折り返し参加費振込票をお送りします。

事前申込締切 11月13日(金)

振込期限 11月20日(金)

■参加費

		予約受付*1)	当日受付
会員	一般	5,000円	7,000円
	学生	3,000円	4,000円
非会員	一般	8,000円	10,000円
	学生	3,000円	4,000円
入会して参加 ²⁾	一般	8,000円	10,000円
	学生	6,000円	7,000円

*1) 予約受付：11月13日(金)までに申込み、11月20日(金)までに振込済みの方

*2) 入会して参加：一般、学生共に年会費3,000円を含んだ金額です。

<連絡先>

環境ホルモン学会（日本内分泌攪乱化学物質学会）事務局

〒305-0061 つくば市稲荷前24-1-202 Tel: 029-859-0818 URL: <http://www.soc.nii.ac.jp/jsedr/>

<申込先>

E-mail: jsedr@mb.infoweb.ne.jp

Fax: 029-859-0851

ミニシンポジウム

「残留性有機フッ素化合物（PFOS, PFOA）の規制、曝露、健康影響について」

日時：7日（月）14:30～16:30

会場：2F大会議室

講演者：

- ・北野大（明治大学理工学部）：
「POPs 条約における新規 POPs の指定について—POPRC における検討状況—」
- ・原田浩二（京都大学医学部）：
「残留性有機フッ素化合物のバイオモニタリング・曝露・体内動態・健康影響」
- ・岸玲子（北海道大学医学部）：
「有機フッ素化合物の妊娠中曝露による次世代影響—
「環境と子どもの健康：北海道スタディ」から—」
- ・柴田康行（国立環境研究所）：
「フッ素系界面活性剤に関する野生生物を用いた環境モニタリング並びに
分析法に関する諸問題」

特別講演

「ダイオキシン受容体の生理的機能：内分泌攪乱作用との関わり」

日時：8日（火）2F大会議室13:30～14:20

会場：2F大会議室

講演者：藤井義明（東京大学分子細胞生物学研究所）